

# 令和4年度事業の行政評価

事業名	区民と区長のタウンミーティング	所管	企画部 広聴・広報課
-----	-----------------	----	---------------

## 事業概要

基本計画の位置付け	政策	—	—
	施策	—	—
	区政運営	1	対話・参加・協働に基づく区政運営
根拠法令等	—		
個別計画等	—		
予算科目	款 2 項 1 目 3 事務事業 1 事業 広聴		
対象者	区内在住、在勤、在学者	事業方式	直営
目的(効果)	区がこれから検討する重要な取組に対し、区長が区民から直接意見を聴き、対話することで、区政への関心を高めてもらうとともに、区民と協働して区政課題の解決に取り組む機会とする。	事業の始期-終期	開始 平成30年度 終了予定 年度
実施内容(4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 区政の重要課題をテーマとしたタウンミーティングの開催(計5回) 区民の方から参加者を募り、区がこれから検討を進める取組に対して意見を聴いた。</li> <li>○ 学校でのタウンミーティングの開催(計4回) 区立・私立学校に訪問し、子どもや若者が考える「子どもにとってやさしいまち」について意見を聴いた。</li> <li>○ 各種団体との出張版タウンミーティングの開催(計8回) 「文化芸術の振興」「高齢者の地域参加」について、各種団体との対話を実施した。</li> </ul>		

## 事業のコストと人員

(金額単位：千円、( )内は対前年度比増減率で単位：%)

	2年度	3年度	4年度	
事業のコスト(C-D)	3,766	7,630	4,361	(△42.8)
支出(C=A+B)	3,766	7,630	4,361	(△42.8)
事業費(A)	477	424	427	(0.7)
人件費(B)	3,289	7,206	3,934	(△45.4)
収入(D)	0	0	0	(—)
従事職員数				
常勤職員	0.4人	0.9人	0.5人	
短時間勤務職員	0.0人	0.0人	0.0人	
会計年度任用職員等	0.0人	0.0人	0.0人	
計	0.4人	0.9人	0.5人	
	事業のコストの説明			
	主な内訳(4年度)			
	無作為抽出案内文郵送料140千円 音響機材購入 160千円			
	主な増減(3年度から4年度)			
	無作為抽出案内郵送料△141千円 ポスター掲示・撤去委託△51千円(皆減) 音響機材購入 160千円(皆増)			

## 事業の実績・効果

(実績の( )内は対前年度比増減率で単位：%)

指標	単位	2年度実績	3年度実績	4年度計画	4年度実績
活動実績	タウンミーティングの開催数	回	9	19	14 (△10.5)
単位コスト	タウンミーティング1回あたりのコスト(事業のコスト/開催数)	円	418,444	401,579	284,126 256,529 (△36.1)
事業の効果	タウンミーティングへの参加人数	人	107	333	— 382 (14.7)
ユーザー視点	タウンミーティング参加者のうち、「満足」「やや満足」と回答した割合	%	71	71	70 74 (4.2)

### 有効性(活動実績分析)、効率性(コスト分析)、適正性(適切性・必要性)

新たに私立学校における開催や各種団体へ出向いて実施することで、子どもから高齢者まで幅広い層に区政への参加や関心を高めてもらう機会をふたつ増やした。また、参加者のディスカッションを通じて他者・立場の異なる声を踏まえた意見が寄せられ、これに対する区の対応状況をフィードバックすることで、施策の立案や改善に活かすことができている。

## 次年度予算編成に向けた評価

【事業の方向】	【理由】
改善(拡充)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対話による区政運営を進めるにあたり、より多くの方から広く意見を取り入れるため、テーマを工夫するとともに現地へ赴くなど、対話の機会を質・量ともに充実させ、それらを施策立案や業務改善につなげることが求められる。</li> <li>○ 現在の手法により、引き続きタウンミーティングを実施するとともに、試行的な取組として、事前アンケートの実施や有識者に参加してもらうことを通じて、参加者の意見の深堀りと満足度を向上させるなど、今後も内容の充実を図っていく。</li> </ul>